

第286号 2011年 7月15日
弘前大学総務部総務課

学術講演会・研究発表会・公開講座

白神研究会2011年度夏季観察会「大川タカヘグリ探訪」のお知らせ

1. 日 時：2011年 7月23日（土）
2. 場 所：岩木川上流大川タカヘグリ
3. 集 合：9：00まで西目屋村、ビーチ西目屋駐車場へ集合
（車のない方はお申し出下さい。8：00弘前大学正門発です）
4. 解 散：15：00頃 ビーチ西目屋駐車場
5. 定 員：20名（中学生以上）
6. 参加費：300円（保険100円・テキスト／雑費200円）
7. 申 込：弘前大学白神自然観察園
（中村さんか山岸さんへ、電話兼FAX 39-3707か39-3706）
※住所・氏名・電話番号・移動手段をお知らせください。
8. 締 切：7月21日（木）ですが、定員になり次第締め切ります。

※履き物はトレッキングシューズあるいは膝まである長靴。あればスパイク付き地下足袋。
スニーカーやふくらはぎの半ばまでの長靴は不可です。杖・ステッキをお持ち下さい。
なければお貸しします。服装はハイキング用のものでいいですが、雨具は必携です。
手袋、帽子、虫除け、かゆみ止めをご用意下さい。お弁当、飲み物をお持ち下さい。
地図は配布しますが、ご自身で用意される方は、1:25000地形図「冷水岳」図幅です。

※川の中を歩きますので、帰りの履き替えを持ってくると良いです。
万一、増水等で大川が危険な場合には、別のコースに切り替えます。

問い合わせ先： 白神マタギ舎 牧田肇
電 話：0172-88-1881

国際交流科目 日本語基礎演習・日本語初級演習 合同発表会のお知らせ

今年は留学生がやや少ないですが、恒例の発表会を行います。

日本語をゼロから学んだ学生が、それぞれ自分の国や地域について、プレゼンテーションソフトを使って発表します。プロジェクターに映して全員が一斉に見るのではなく、学生に繰り返させるためもあり、学生がそれぞれのブースでパソコンを使ってプレゼンテーションをします。どうぞ、空いた時間にぶらりとお立ち寄りください。皆さまのご来場をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 7月26日（火）10：20～11：50
2. 会 場：弘前大学総合教育棟2階 大会議室（国際交流センターの隣の部屋です）
3. 発表者（予定）の出身地：アメリカ3名、中国2名、インド1名、ハンガリー1名 計7名

※入退室は自由です。

問い合わせ先： 弘前大学国際交流センター 小山 宣子
電 話：0172-39-3983

平成23年度 弘前大学保健学研究科 学部教育FD講演会のお知らせ

弘前大学保健学研究科のFD委員会では、平成23年度の学部教育講演会を下記の日程で企画しましたのでご案内いたします。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2011年 7月29日（金） 18：00～19：30
2. 場 所：弘前大学保健学研究科 第2講義室（2階）
3. 演 者：公益財団法人 日本適合性認定協会
認定センター 部長補（化学試験プログラムマネジャー）松本 年雄 氏
4. 演 題：国際的な認定制度の概要と認定機関の役割
○医 療（臨床検査室認定）／食品分野（試験所認定制度）
○国際的認定制度の理解とその教育の推進に向けて

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科 FD委員会 大友 良光
電 話：0172-39-5970
E-mail：yotomo@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護研究会および教育講演会のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト」では、被ばく医療に対応できるメディカルスタッフの養成を目指しています。本研究会は、米国から講師をお招きし、放射線看護に関する最新情報や、原子力災害時における看護の役割についてなど、放射線看護に関する幅広い講演内容となっております。

また、教育講演会は、米国でのがん看護についての講演内容となっております。

看護職者の方はもちろん、メディカルスタッフの方や学生の方々の参加を心よりお待ちしております。

《放射線看護研究会》

1. 日 時：2011年 7月31日(日) 15:00～
2. 会 場：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前 3階「アメジスト」
(青森県弘前市大町1-1-2)
3. 講演内容：

(1) 特別講演 Survivorship in Radiation Oncology
講 師：Miranda Kramer, RN, MS, ACNP-BC, CNS
University of California,
San Francisco (UCSF)

(2) 教育講演

① 我国におけるがん放射線療法看護認定看護師教育の
現状と課題
京都大学大学院医学研究科人間健康科学科・准教授
作田 裕美

② 原子力災害における看護の役割
弘前大学大学院保健学研究科・准教授 野戸 結花

(3) 一般演題 4題

4. 参加費：無 料
5. 事前申込：下記問い合わせ先へお申し込みください。

※研究会終了後(18:30～20:30)、同会場にて懇親会を予定しております。
(懇親会費5,000円)

《教育講演会》

1. 日 時：2011年 8月 1日(月) 16:00～
2. 会 場：弘前大学大学院保健学研究科 24講義室(6階)
3. 講演内容：Breast Cancer Treatment 2011

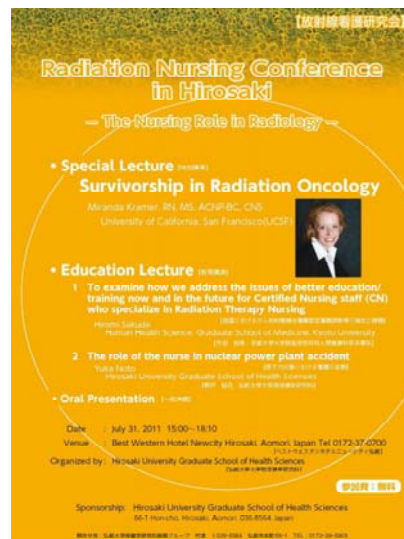
講 師：Miranda Kramer, RN, MS, ACNP-BC, CNS
University of California, San Francisco (UCSF)

4. 参加費：無 料

※事前のお申し込みは不要です。どなたでも参加できます。

詳細は、<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/>

問い合わせ先： 弘前大学保健学研究科総務グループ 竹浪
電 話：0172-39-5905
E-mail：meat2929@cc.hirosaki-u.ac.jp



第45回 機能集積情報システム研究会 開催のお知らせ

1. 日 時：2011年 8月 1日（月） 13:00～16:40
2. 会 場：弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大8階八甲田ホールAB
3. 概 要：

本研究会は、電子情報通信学会・ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。近年のLSI製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模ICチップ上に集積・実装する情報システムFIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。まず、ICチップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などがあげられます。また、ICチップ上の情報システム構築(SOC: System On Chip)技術としては、IC内部の欠陥検出法(テスト手法やBIST: Build In Self Test)や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などがあげられます。さらには、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法もあげられます。本機能集積情報システム(FIIS)研究会は、上述のように、各種応用分野の枠を超え、それらを統合して、高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。従いまして、本研究会では多くの研究分野からの研究発表を歓迎いたします。第45回機能集積情報システム研究会は弘前大学で開催致します。皆様奮って御参加下さい。

4. プログラム：

- (1) FFの信号通過時間を含む微小遅延テスト方式
○張文坡・難波一輝・伊藤秀男(千葉大)
- (2) クロック信号利用のパス遅延測定による微小遅延テスト
○加藤健太郎(鶴岡高専)・難波一輝・伊藤秀男(千葉大)
- (3) 任意故障における状態依存NMR方式の評価 上原稔(東洋大)
- (4) 並行システムの不具合発見手法の現状と考察 森秀樹(東洋大)
- (5) 小規模プロセッサCPU1208によるVHDL記述能力の検討
○松平功介・吉岡良雄(弘前大)
- (6) 決定的ルーティングを用いた不規則2Dメッシュ型NoCのためのタスクマッピング方式
○久田見拓・福島裕介(上智大)・福士将(東北大)・矢入(江口)郁子・服部武(上智大)
- (7) VLSIおよびVLSI実装基板向け差動伝送信号の品質改善
○島田弘基・秋田翔平・安永守利(筑波大)

5. 参加資格：特に制限はありません。
6. 参加費：1,000円(会場でお支払い下さい。学生は無料です。)
7. 主 催：ディペンダブルコンピューティング研究専門委員会

8. 委員長：吉岡 良雄（弘前大学）

問い合わせ先： 菅原 英子（秋田工業高等専門学校 電気情報工学科）
〒011-8511 秋田県秋田市飯島文京町1番1号
電話・FAX：（018）847-6049
E-mail：ume56@ipc.akita-nct.ac.jp

文部科学省科学技術戦略推進費 地域再生人材創出拠点の形成
「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」
「平成23年度第2回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」開催のお知らせ

弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」では、放射線の人体影響、特に胎児や子供への影響についての知識を習得することを目的に、「平成23年度第2回 被ばく医療プロフェッショナルセミナー」を開催します。

今回は、放射線医学総合研究所放射線防護研究センターより 島田 義也 氏 をお招きし、放射線被ばくの影響に関してご講演をいただきます。

1. 日 時：2011年 8月 8日（月） 18:30～19:30

2. 会 場：保健学研究科 総合研究棟第24講義室（6階）

3. 講 師：

独立行政法人放射線医学総合研究所
放射線防護研究センター発達期被ばく影響研究グループ
グループリーダー 島田 義也 氏

4. 演 題：「胎児、こどもの被ばく影響を考える」

5. 参加料：無 料

6. その他：参加を希望される方は、事前に下記の
問い合わせ先まで申し込み願います。



問い合わせ先： 弘前大学「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」事務局
被ばく医療総合研究所事務室
電話・FAX：0172-39-5401
E-mail：jm5401@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku-pro/>

次世代型IT基盤技術開発センター講演会
～電子情報通信学会東北支部学術講演会～（廣瀬文彦教授）開催のお知らせ

1. 日 時：2011年 8月11日（木） 13:30～15:00

2. 会 場：理工学部1号館2階、大会議室

3. 講 師：山形大学大学院理工学研究科 廣瀬 文彦 教授

4. 演 題：界面修飾法による色素増感太陽電池の高効率化

5. 概要：色素増感太陽電池はローコストな太陽電池の候補としてさらなる高効率化が求められている。効率向上のためにより高密度な色素吸着を実現することが重要だが、我々は分子層レベルでの高感度な評価が可能な多重内部反射赤外吸収分光法を用いて、色素吸着機構を調べ、高密度化を図るための界面修飾法の適用を試みた。本発表では、吸着評価結果、界面修飾の効率向上効果について紹介する。

5. 主催：電子情報通信学会東北支部

6. 共催：弘前大学次世代型IT基盤技術開発センター
弘前大学電子情報工学科

※事前申込は必要ありません。

教員、学生、大学院生等、興味のある方の御参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩
電 話：0172-39-3636
E-mail：okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会開催のお知らせ

1. 日 時：2011年 8月10日（水） 13:00～17:25
2011年 8月11日（木） 9:00～12:35

2. 会 場：弘前大学理工学部1号館2階、大会議室

3. 議 題：電子部品・材料、一般

4. 主 催：電子情報通信学会電子部品・材料（CPM）研究会
弘前大学次世代型IT基盤技術開発センター
弘前大学電子情報工学科

※事前申込は必要ありません。

教員、学生、大学院生等、興味のある方の御参加をお待ちしております。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科・中澤 日出樹
電 話：0172-39-3559
E-mail：hnaka@cc.hirosaki-u.ac.jp

学内掲示板

男女共同参画推進室からのお知らせ

第5回女性研究者フォーラムのお知らせ

女性研究者フォーラムは、学部を超えて女子学生と女性教員の交流する場です。自由なおしゃべりを通して、女性研究者の情報の共有化及び女子学生へキャリアモデルの提示をすすめます。第5回女性研究者フォーラムは、資生堂から講師を招き、就職活動から大人のメイクまで、意外と知らないメイクのいろはをご指導いただく予定です。就職活動を前にした方、これからメイクを始めようと思っている方、長い間メイクしてきたけど正しいかどうか不安を感じている方…多くの女子学生・女性教職員の参加をお待ちしています。

開催予定は以下の通りです。参加費は無料、事前の申し込みは不要です。

1. 日 時：2011年 8月 9日（火）
11:00～12:00、13:00～14:00
2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館 1階 会議室1
3. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室
4. 共 催：教育・学生委員会
(このフォーラムは、FDワークショップとして開催されます)

問い合わせ先： 弘前大学男女共同参画推進室 鶴井 香織
電 話：0172-39-3885
E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/equality/contents/event.html>



弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先： 弘前大学出版会（附属図書館内）
電 話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail：hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

http://www.janu.jp/active/7janu_quarterly_report.html

編集担当から）講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務課広報・支援グループ

E-mail：jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp、Fax:37-6594、内線：3012